

川村 住区の要望書をだしましたが、基本構想素案が平成6年(1994年)9月にでき区議会で承認され、基本構想案として10月には説明会、という短期間のスケジュールの為、要望にそってないもので進行することになってしまいました。

司会 それは希望と違ったんですね。

川村 住区住民会議としても内容について話し合いを重ね、目黒区の方に一部要望を取り入れてもらいました。

住友 他の住区より、センター建設が10年程遅れたわけですが、建設当時は区の財政事情により、当初案より予算が3割カットされ、内容もだいぶ変更になったのが残念でした。



川村 忠司

住区センター完成後の活動の変化

司会 住区センター建設後の活動の変化は、いかがでしたか。

住友 住区設立の準備会から20年近くたっていたんですが、住区活動の拠点ができてほっとしました。拠点がなければ活動がなかなか浸透しないので、センターができて、その点が一番よかったです。

小林 センターができて一番よかったのは、住区の活動室ができましたので、皆さんが集まりやすくなって日常の活動が活発になったことですね。また、パソコンやコピー機などの設備を使って広報活動や書類作成などもずいぶん楽になりました。

岡田 それから、児童館、学童保育クラブ、老人いこいの家、防災倉庫などが日常的に同居している訳ですから、地域のコミュニケーションもすごくよくなりました。特に、八雲住区の子供達の顔が見えるようになりました。また、住区センターでおこなうイベントで、ワイワイまつりや、なかよしコンサートなどを通して地域の方々の顔も見えるようになってきました。住区センターは「八雲のまちづくり」のまさに拠点になっていることを実感します。それから防災訓練なんかは、住区では、災害時避難所訓練を担当し、町会

は防災訓練をやるとかいうように、役割分担もできてきましたね。

小杉 今回の新潟地震みたいに八雲がなった時、避難所の舵取りは町会でやるんですか、それとも住区がやるんですか。

川村 第一避難所は八雲小学校になるんですが、行政がすぐ動けるとは限りませんので、まず住区が音頭をとって町会、学校や動ける地域の方々と協力をして、避難所を立ち上げる訓練を、ここ2回程ですがやっています。

岡田 要するに、地域の人達が日頃から顔見知りになってコミュニケーションを取りながら、そういう訓練をしようじゃないかということで、住区が音頭をとってやっているんです。

小杉 最近、町会といいますが、新しい方もたくさん増えていますから、町会でまず避難所への呼びかけをして、八雲住区が更にそれをまとめていくようになってくれるなら心強いと思います。

住友 住区と町会はおのおの役割分担が違うので、それにそってやっていけば住区と町会はずうまくいくと思



住友 勇二

八雲住区センターが落成



平成10年(1998)2月25日

区内で最後の住区センター。住区発足から12年。やっと我々の活動の拠点ができた。



写真で見る歩み

八雲ワイワイまつり



平成12年(2000)11月26日

住区センターを利用してしている団体との交流と発表の場。八雲地域の文化祭になった。